



登米市教育研究所

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向 150-1

HPアドレス <http://www.torime-avc.jp/rese/>

TEL 0220-22-8029(相談専用 22-8125) FAX 22-9114

<おいしう~>

これから蒸し暑い夏を迎え、体力の消耗がより激しくなります。これを解消するために「土用の丑の日」にウナギを食べる習慣がありますが、このウナギは刺身でも食べられるのでしょうか。(あまりウナギの刺身って聞いたことありませんが)ウナギの血液には「イクチオヘモトキシン」という毒があり、口にすると呼吸困難や吐き気などの症状を起こすそうです。この毒は熱に弱く、60度以上で5分ほど加熱すると壊れるそうです。従って、ウナギの刺身は食べられないということになります。

保育担当者及び児童館等指導員研修会①



6月18日(火)保育担当者及び児童館等指導員研修会①が南方庁舎で行われました。この研修会は子育て支援課との共催で年3回行われ、今回はその1回目の研修会です。

<エピペンの実技研修>

講師は宮城県立こども病院栄養管理部管理栄養士の四籠(しかま)美帆先生です。「食物アレルギーの最新基礎知識と対応」と題して、講義をしていただきました。概要は以下の通りです。

◇ 講義の内容

- 1 食物アレルギーとは?
 - 2 即時型食物アレルギー症状の治療薬について
 - 3 食物アレルギー緊急時対応と施設内での役割
 - 4 適切な対応について(動画鑑賞)
 - 5 エピペンの使用方法について
 - 6 不適切なアナフィラキシー対応事例の紹介
 - 7 保育園給食における食物アレルギー対応
 - 8 ひやりはつと事例より学ぶべき食物アレルギー対応の注意点
- ※ すべては紹介できないので、主なものを紹介します。



◇ 食物アレルギーとは

- 身を守るはずの免疫反応が過敏に反応してしまう(食べる、さわる、吸いこむ)

◇ 即時型食物アレルギー症状

- 目(結膜の充血、かゆみ、まぶたの腫れ)、口・喉(違和感、イガイガ感、唇・舌の腫れ)、皮膚(かゆみ、じんましん、赤み)、鼻(くしゃみ、鼻汁、鼻づまり)、呼吸器(声のかすれ、咳、苦しい、ゼーゼー・ヒューヒュー等)、消化器(腹痛、吐き気・嘔吐、下痢) など

◇ アナフィラキシーとアナフィラキシーショック

- アナフィラキシー~複数の臓器に全身性に症状がみられ、急速に進行
- アナフィラキシーショック~アナフィラキシーにショックを伴う状態(血圧低下、意識障害)

◇ 即時型食物アレルギーの原因食物

- 鶏卵(39%)牛乳(22%)小麦(12%)が特に多い

◇ 即時型食物アレルギーの治療薬

- 抗ヒスタミン薬、気管支拡張薬、ステロイド薬、エピペン など

◇ 食物アレルギー治療の原則

- 正しい診断に基づいた必要最小限の原因食物の除去

◇ エピペン注射液の特徴

- アナフィラキシーの症状を和らげ、効果はは5分以内に認められ、20分程度有効(エピペンの使用方法に基づいた実技研修も行った)

◇ 対応で大切なこと

- 施設内での共通理解、役割分担
- 緊急性の判断と対応(5分以内に判断、迷ったらエピペン、119番通報)

※ 食物アレルギー緊急時対応マニュアル(県学校保健会、県教育委員会)参照

<No.5の答え>

- | | |
|-------|---------------------|
| た-1=く | それぞれカタカナに直すと |
| つ-1=そ | ター-1=ク、ツ-1=ソ、シー-1=ン |
| し-1=ん | よって、う-1=わ(ウ-1=ワ) |

頭の体操

中堅教員研修



6月19日(水)中堅教員研修が行われました。講師は東部教育事務所副参事(班長)管理主事の大沼 博先生と登米市教育委員会次長兼学校教育管理監の及川幸男先生です。

<講師の大沼 博先生>

大沼先生からは宮城県の教育課題とその対応、及川先生からは登米市の教育課題とその対応と題して講話をいただきました。

講話の概要は以下の通りです。

【宮城県の教育課題とその対応】~大沼 博 先生

- 1 本県教育の課題とその対応~第2期宮城県教育振興基本計画から
 - ◇ 教員の資質能力の向上と知識・技能の伝承(基本計画P14)
 - ◇ 豊かな人間性と社会性の育成(基本計画P36)
 - ◇ 確かな学力の育成(基本計画P45)
 - ◇ 命を守る力と共に支え合う心の育成(基本計画P60)
- 2 学校における具体的取組
 - ◇ 学力向上に向けた5つの提言
 - 「理解」~提言一つ一つの意味を確認し共通理解して実践
 - 「継続」~当たり前のことを、着実に継続
 - 「自校化」~学校の実情に応じた取組
 - 「子どもをほめること、認めること」~学習評価の一つ
 - ・ 「ほめる」とは? 校内で共通理解し実践することは?
 - ※ 隣同士で意見交換
- 3 中堅教員=学校運営の推進役
 - ◇ コンプライアンス~信頼を高め、よりよい学校運営を推進
 - ◇ 風通しのよい教職員組織~風(校長の経営方針)
 - 教職員の学校運営の意志
 - ◇ 教育公務員としての「自己の崇高な使命」を深く自覚

【登米市の教育課題とその対応】~及川幸男先生

- 1 県と共通の教育課題
 - ◇ 学力向上、いじめ・不登校、肥満 等(共通部分は省略)
 - 2 登米市の学校再編について
 - ◇ 再編構想策定の経緯
 - 学校再編基本方針
 - 保護者、地域との意見交換会 等
 - ◇ 小・中学校の状況(地域別)~児童・生徒数の推移(10、20年後)
 - ◇ 基本的な考え方と再編の進め方
 - ◇ 再編の方針 ◇ 推進に係る配慮事項 ◇ 再編計画の期間
- ※ 詳しく説明していただきましたが、内容については割愛させていただきます。



<講師の及川幸男先生>

<参加者の感想(抜粋)>

- 教育公務員としての自己の崇高な使命ということばは、現場に戻って先生方に伝えたいと思った。
- 登米市の学校再編構想、今後の予定がよく分かった。
- 本校の教育課題について改めて考えることができた。
- 登米市の10年、20年先の児童・生徒数が具体的に参考になった。

□□あ □ね□ □う□□

□に入る共通の平仮名は?

答え

(制限時間30秒)